

国立武蔵野学院附属児童自立支援専門員養成所第73期 合格体験記

R. Iさん（千葉県出身 獨協大学法学部法律学科）千葉県児童自立支援専門員合格

①私が「児童自立支援専門員」を目指した理由

大学の講義を通して、この職に興味を持ちました。そして、実際に武蔵野や夏期の実習を経験したことで、児童自立支援施設を目指そうと考えるようになりました。

②私の勉強方法

入所してからは、勉強する時間はほとんどありませんでした。しかし、講義で学んだ内容は、福祉職の専門科目にも関連して来る為、復習は重要であると感じました。あとは、社会福祉士の試験問題集を参考にしました。配属によっては、平日の17時以降や日曜日に時間ができるため、余裕があるときに勉強をしておくことも大切だと思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

夏の任意実習で、千葉県の児童自立支援施設に行ったことで、就職先のことを理解した上で試験に臨め、面接での志望動機を考える上でも役に立ちました。しかし、養成所生は皆、勉強に関しては準備不足であったように思います。そのため、自分が受けようと思っている職種の倍率など、養成所系の先生とも話し合い、情報を集めていくことも必要だと感じました。

N. Yさん（千葉県出身 東京家政大学人文学部卒）千葉県児童指導員合格

①私が「児童指導員」を目指した理由

大学生の頃から児童福祉に携わる仕事がしたいと思い、専門性を高めるため養成所に入所しました。武蔵野学院での実習を通じ、本人の支援と環境への支援の重要性を学び、地元の児童指導員を目指しました。

②私の勉強方法のポイント

武蔵野学院に入所してからは、公務員試験の勉強時間を確保できませんでした。事前に

勉強しておくの良いのではないかと思います。入所してからは、計画を立てて休日を上手く利用することをおすすめします。また、わからない問題は1人で抱え込まず、同期に聞いて解決することが良い方法であると思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

合格・内定を獲得できたのは、面接練習を何度も行ったことだと思います。2次試験の前には、院長先生に面接カードの添削と面接練習をお願いしました。また、同期にも面接練習をお願いし、部屋で何度も練習しました。後は、武蔵野学院での経験や学んだことを整理しておく面接の時に有効なのではないかと思います。

M.Tさん(岩手県出身 弘前大学教育学部卒)

福島県児童自立支援専門員合格

①私が「児童自立支援専門員」を目指した理由

元々子どもの貧困に興味があり、児童相談所のケースワーカーになりたいと思っていました。しかし、武蔵野での生活の中で、児童自立支援専門員の方が自分には向いていると思うようになり、児童自立専門員を目指すようになりました。

②私の勉強のポイント

他の人も書いているかと思いますが、養成所での生活は大変に忙しく、勉強する時間はほとんどありません。したがって、入所前に公務員上級の試験勉強をしておくことをお勧めします。また、試験情報が各自治体から随時出されます。早いところは入所前から出しているところもありました。情報収集を大切にし、申し込みが遅れないようにしてください。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

養成所の環境が大きいと思います。どうして児童福祉を志したのか、どんな職員になりたいか、子どもと関わる上で何を大切にしたいか、していたか、養成所での生活全てが材料であり、合格のための糧となります。それらを自分なりの言葉で飾らずに話せたのが大きかったのではないかと思います。養成所での生活は大変かと思いますが、みんなで協力し、助け合って頑張ってください。

A. Rさん(石川県出身 北陸学院人間総合学部卒) 佐賀県児童自立支援専門員合格

①私が「児童自立支援専門員」を目指した理由

子どもを支援する仕事に就きたかったことから養成所に入所しました。佐賀県は児童自立支援専門員として採用されますが、児童相談所等への配属もあり、福祉職として多岐に渡って子どもを支援する事ができるため目指しました。

②私の勉強方法のポイント

養成所の日課は多忙な事もあり、なかなか勉強をする時間がありませんでした。そのため、休日の時間があるときを有効に使ってコツコツと勉強することが大切だと思います。わからない問題があれば同期生に聞いたり、同期生と一緒に勉強したりすることでモチベーションも上がります。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

面接練習が大切だと思います。あらかじめ面接の質問に対して回答を考えておくことは必要ですが、院長先生に5回程面接の練習をしていただき、ご指導をいただいた事が大きかったと思います。ご指摘いただいた所を再度考え直し、同期とも繰り返し面接練習を行いました。面接はとても緊張しますが、練習した時間が自信に繋がります。

Y.Hさん （宮崎県出身 広島大学教育学部卒）東京都 I 類福祉職合格

①私が「児童福祉司」を目指した理由

武蔵野学院での実習を行う中で、児童自立支援施設等の環境が整う場では、自分の課題と向き合い成長する児童の姿を見ることが出来る一方、退所した先では環境の変化に対応できず、再び同じことを繰り返してしまう児童が多い実情について知りました。また、基本的に社会にでたら失敗しながら成長していくと思いますが、失敗したときに拠り所となる場所がないために立ち直ることが出来ず犯罪に手を出してしまう児童の存在についても知りました。そこで、とにかく児童が地域や家族とのつながりの中で生活していけるようつなぐ支援を行いたいと思ったので児童福祉司を志望しました。

②私の勉強方法のポイント（※あくまで私のやり方なので参考程度に見てください。）

○一般教養…教養はスーパー過去問ゼミを用いて勉強しました。一般教養は出題範囲がかなり広いので、出題数や自分の得意教科に合わせて勉強を行うといいと思います。

私の例…

数的処理・主要な問題を3回くらい繰り返す

文章理解・1日3題

社会科学・1通り問題を解いてみる

自然科学・1通り問題を解いてみる

時事問題・ほぼしてない

人文科学・何となく解いたくらい

大学入試の勉強とかぶる部分もあると思います。公務員試験についてネットで調べると一般的な出題傾向や力の入れ方についても出てくと思うので、情報を集め、自分の得意不得意にもあわせつつ効率的に行うとよいと思います。東京都については、過去問で解いたような問題が多く出たように思います。

※6月くらいから行っていました。

○専門…専門は中央法規の社会福祉士国家試験の問題集を使って勉強していました。後は、養成所に入ってから講義もありますが、東京都は試験が早いため、福祉系の大学でなかった場合、ほぼ独学状態になるかと思います。

※専門については12月くらいから本格的に始めたと思います。

○面接…院長先生や他の研究生等様々な人に見てもらいました。自分自身（強み・弱み・苦手な人・自分の信念等）や児童福祉（志望動機・連携等）について考え方をまとめておくとういと思います。東京都は和やかな雰囲気のもと20分ほど行われました。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

勉強・面接共に努力したからだと思います。児童福祉の職に就きたいという思いは中学生のころから持っていたため、その夢に向けできる限りのことはしたかと思います。試験まで時間がない中だとは思いますが、後で後悔することがないように、出来る限りのことを頑張ってください。心から応援しています。

K.Yさん(北海道出身 専修大学法学部卒) 東京特別区Ⅰ類福祉職合格

①私が「福祉職」を目指した理由

養成所入所前は警察官として働いていました。少年補導活動を通じて、非行は子どもだけの問題ではなく、家庭環境が大きく影響していると感じました。そのために包括的な支援を行うことのできる児童福祉司になりたいと思ったのが、福祉職を目指した理由です。

②私の勉強方法のポイント

正直、養成所入所後に試験勉強をする時間を確保することは難しいです。少ない時間で効率よく勉強することをおすすめします。自治体の福祉職を受験するのであれば、教養問題と福祉の専門問題が出題されるので傾向を確認した上で、頻出問題に特化して勉強するのが効率的かもしれません。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

筆記試験については、あらかじめ過去問題などを通じて模擬試験を行い、慣れておくとも良いかもしれません。面接については、自然体を意識して望みました。自分自身を変に取り繕うことなく、児童福祉に対する熱意を伝えることが大切だと思います。その上で児童福祉についての時事ニュースや受験する自治体の子どもの数などはチェックしておくことをおすすめします。

**A. Tさん(大分県出身 大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科卒)
大分県児童自立支援専門員合格**

①私が「児童自立支援専門員」を目指した理由

子どもと関わる仕事をしたいと思っていたことと、前職でスイミングスクールのインストラクターをしていて、比較的家庭環境に恵まれている子ども達が多かったので、次は何か問題を抱えている子どもの力になりたいと思いこの仕事を選びました。

②私の勉強方法のポイント

私は社会人経験があり、お勉強からだいぶ離れていましたので武蔵野学院の受験も公務員試験も苦労しました。一般教養の勉強は市販の参考書を使い、同期の仲間にいろいろと教えてもらいながら行いました。大分県の試験は初級レベルでしたが、各地域で初、中、上級とレベルが違うので事前に問い合わせれば教えてくれると思います。二次試験では専門試験と小論文がありました。社会福祉士の勉強をしていましたが、全く出ず、「児童自立支援施設とは」「心理治療施設とは」「自立援助ホームとは」といった内容で記述式の試験でした。大分県の選考採用試験は9月ごろ行われ、それまでの講義や見学で知ることができていたので答えることができました。養成所に入ってから講義や寮への配属で、時間と体力がごっそり持っていけません。就職試験の準備を行う余裕がなくなります。また、公務員試験は5月ごろから始まるものもありますので、早めに準備をしておいたほうが良いと思います。

③私が合格・内定を獲得できた理由

私は、面接では嘘をつかない、飾らないように意識しています。2回転職をしてい

るので、その経験や失敗談も含め正直に話すようにしました。正直に前向きに気持ちを伝えたことが、合格につながったと思っています。

S. Tさん（宮城県出身 東北福祉大学総合福祉学部卒） 宮城県児童自立支援専門員合格

①私が「児童自立支援専門員」を目指した理由

大学時代に宮城県の児童自立支援施設でのアルバイトや実習を通して、子ども達と関わる楽しさや職員の熱意に惹かれ、児童自立支援専門員になりたいと考えました。その際に、宮城県以外の児童自立支援施設や夫婦制の施設を見てみたいという気持ちが強くなったため武蔵野学院の養成所に入所しました。夫婦制の施設への憧れはありましたが、地元である宮城県の子子ども達のために働きたいと思い決断しました。

②私の勉強法のポイント

武蔵野学院入所後はまとまった勉強時間は取れないので、早めの準備をおすすめします。面接試験は、武蔵野学院での経験を自分の言葉で話すことができるように心掛けていました。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

大学時代の宮城県の児童自立支援施設や武蔵野学院での経験が自信になり、面接時にアピールできたことが合格につながったと考えています。講義や職員の方から学んだことを自分の中で消化して、自分の言葉でアウトプットできるようにすることが有効だったと思っています。

T. Kさん（愛媛県出身 埼玉県立大学保健医療福祉学部卒） 児童養護施設合格

①私が「児童養護施設職員」を目指した理由

私は長く児童自立支援施設職員を目指してきました。武蔵野学院での1年を過ごす中で、児童自立支援施設であれば夫婦制で行いたいという想いが強くなりました。それならば、児童自立支援施設職員になる前に児童養護施設で子どもと密に関わりたいたいと思い、児童養護施設を選択しました。

②私の勉強方法のポイント

私の経験談はほとんど参考にならないと思いますが... 私は大学時代から、就職先となる施設と関わりを持っておりました。福祉業界においては、勉強以上に人脈、繋がりが重要だと私は思っています。大学生時代に紡いだ関係や、武蔵野で出会う先生方との繋がりを大事に、そして広く濃くしていけると良いのではないかと思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

私は1年前に内定をお断りしている施設へ再度試験をお願いし、採用していただきました。そのため、内定を獲得できた理由といいますと、施設側の優しさ、ご厚意となりますでしょうか。

Y.Mさん （神奈川県出身 法政大学文学部卒） 児童養護施設合格

①私が「児童養護施設職員」を目指した理由

私は特に児童指導員を目指して入ったわけではありません。資格が取れることは知っていましたが、それよりも武蔵野学院で学べる環境に魅力を感じて志望しました。きっかけは、大学4年ごろの児童自立支援施設O学園での夜間警備員の経験です。

②私の勉強のポイント

養成所での生活において勉強の時間はほとんどありません。そのため、どれだけ寝る時間を削って熱意をもってできるかだと思います。私はそれができずに県の福祉職は失敗しました。しかし、何かと道はあります。希望は捨てずに自分がやりたいことを見つけられればいいのではないのでしょうか。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

正直、私は失敗しているので内定などはありません。希望を捨てないことだと思います。ポジティブシンキングが大切です。